

卒業後調査 実施結果報告（2020年度：抜粋版）

立教大学では2019年度より、本学の教育およびキャリア支援のさらなる充実を図るため、卒業後調査を実施しています。今回は2015年卒の方を対象に調査を実施し、217名の方から回答をいただくことができました。ご協力いただきました皆さまには心より感謝申し上げます。以下に概要をご報告いたします。

調査概要および回答者の属性

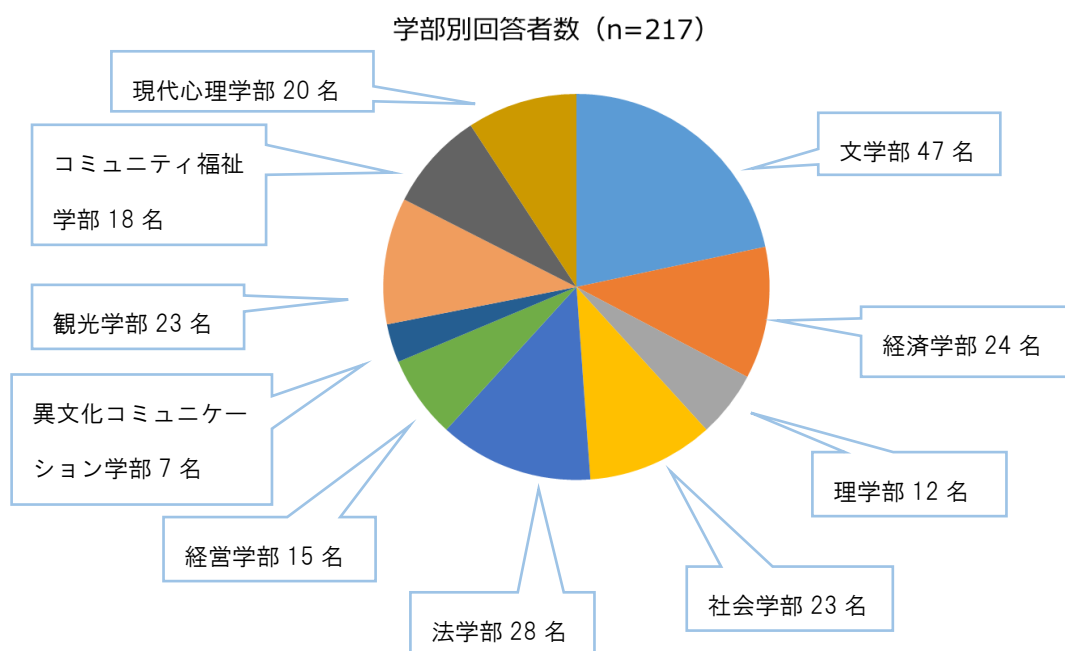
調査対象：本学を卒業してから5年を経過した、2015年卒4,436名の卒業生の方

調査方法：校友会登録のメールにて依頼を送付し、Web上にて調査回答をお願いいたしました。

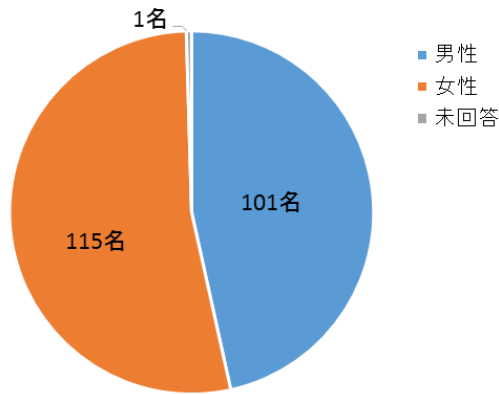
実施時期：2020年7月29日～8月6日

回答者数：217名（回答率4.9%）

すべての学部の方から回答を得ることができました。



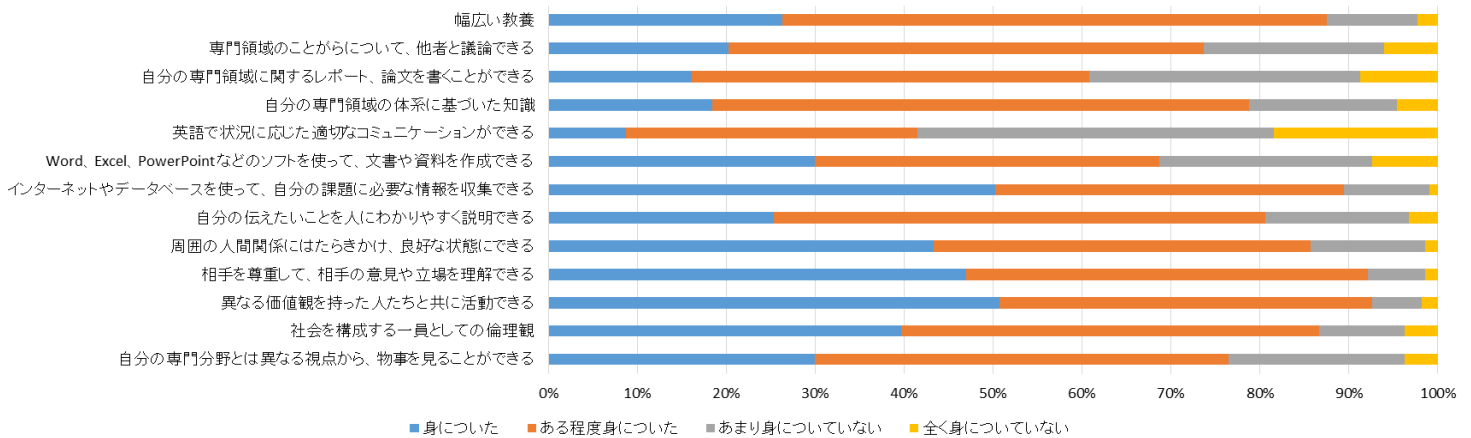
性別回答者数 (n=217)



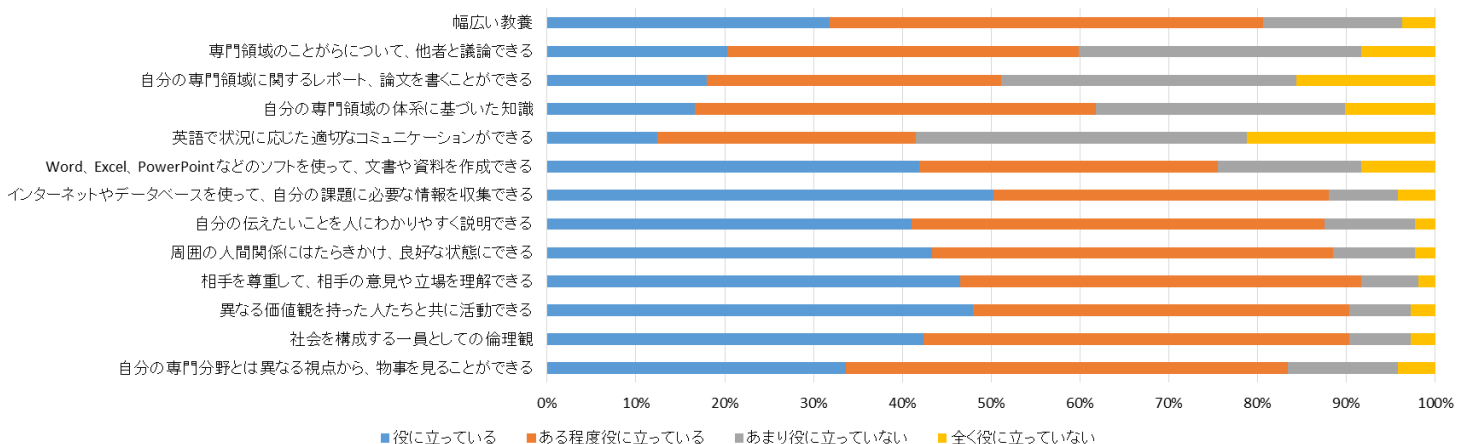
在学中の学びについて

在学中「身についたこと」と「現在どの程度役立っているか」の回答傾向はほぼ一致しています。「周囲の人間関係にはたらきかけ、良好な状態にできる」「相手を尊重して、相手の意見や立場を理解できる」の項目の評価が高かった一方で、語学力やPCスキルなどについては課題のある結果となりました。

以下の項目それぞれについて立教大学在学中にどの程度身についたと思うか (n=217)



立教大学在学中に学んだことは、今現在の仕事や生活にどの程度役に立っていると思うか (n=217)



自由記述より

★大学時代にもっと学んでおいたほうがよかったと思うこと

「英語を含めた語学」「英語のコミュニケーション」など語学関連が 79 件、「統計学」「会計学」など具体的な科目・分野の記述が 27 件、「パソコンや Web の知識」「エクセルの深い知識」など IT スキルに関する記述が 27 件ありました。

★立教大学で過ごしてよかったと思うこと

友人・人間関係が 69 件、環境・校風・雰囲気について 54 件、学びに関するコメントも 35 件と多くみられました。

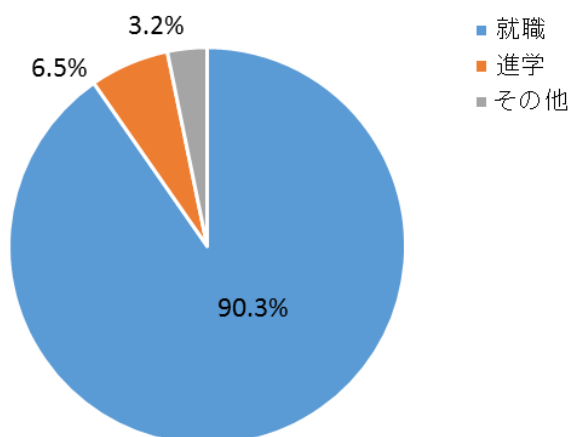
★他大学出身者と比べて優れていると感じられる点は何ですか。

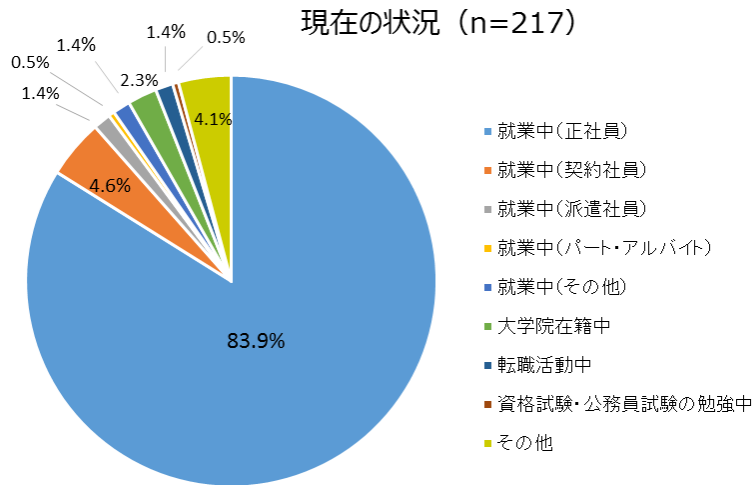
「しなやかだが強い芯を持った人が多い」「自分と異なる考え方の人に出会ってもまず拒否感を覚える人が少ないところ」など感性や人柄に対する記述や、「相手志向のコミュニケーション能力」「物事の因果関係や、構造的に物事を考えられる力は優れていると思います」といった能力や姿勢に関する意見が見られました。

キャリアについて

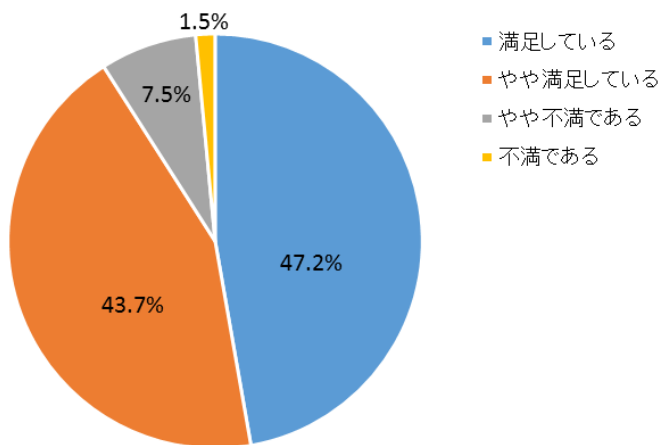
就業に関する問いでは、現在の就業先に対する高い満足度が示されています。また、全体の 4 割の方が転職を経験されており、その多くが 3 年目以降に転職を行っています。今後のキャリア展望においても「転職・独立」に対して肯定的で最多の 4 割近くを占めており、「定年まで勤続」を上回っていました。

卒業時の進路 (n=217)

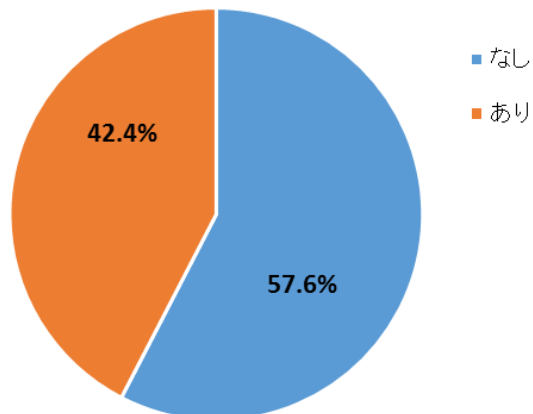




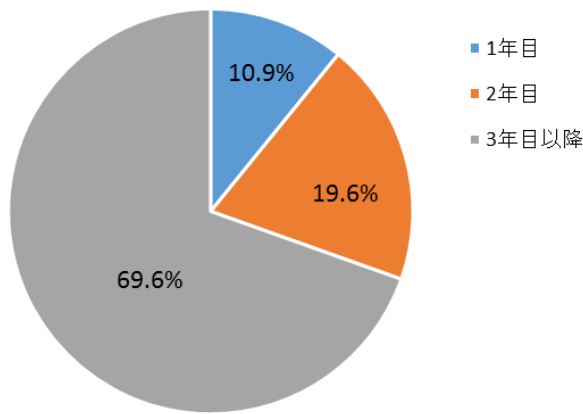
現在の就業先に対する満足度 (n=199)



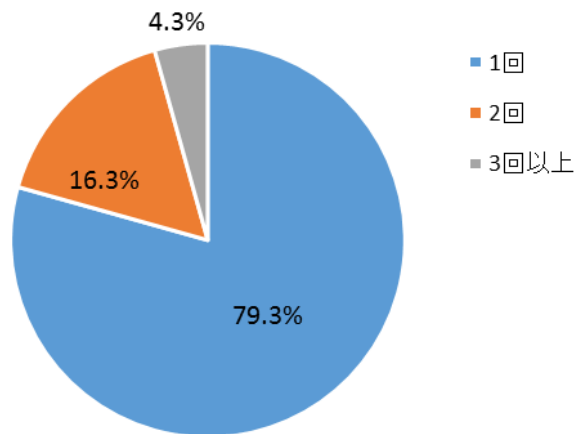
転職経験の有無 (n=217)



初回の転職の時期 (n=92)



転職の回数 (n=92)



★今後のキャリアについて

「しばらく働いた後、さらなるキャリアアップを求めて転職・独立したい」の選択肢を選んだ方が最も多く44.2%、次いで「特段のことがない限り定年まで働き続けたい」が34.2%、「しばらく働いた後、結婚・育児と仕事を両立できる他の就業先に転職したい」が10.1%と続きました。

立教大学に対する意見・要望 (抜粋)

調査の最後に自由記述欄を設け、本学に対する様々なご意見・ご要望を頂戴しました。一部を以下に紹介させていただきます。

- ・立教大学卒業生は本校のことに誇りを持っているはずなので、誇り高くあり続けてほしい。
- ・卒業後もこうしてつながりを持つことが出来るのは立教ならではのようです。

- ・働くということ自体について入学時から考えさせたほうがいいと思う。
- ・在職中でも気軽に受けられるリカレント教育を充実させてほしい。社会に出たからこそ、学びたいことが明確になるので、専門家から教示を受けたい。
- ・本調査を踏まえて、大学がどのように評価されていくべきで、どうすればいいのかよくご検討いただけますと幸いです。

終わりに

あらためまして本調査にご協力いただいた卒業生の皆さまに感謝申し上げます。本調査を通して卒業生の皆さまの大学への思い・ご意見を伺えたことは、何にもまして貴重と考えています。本学の教育の更なる発展のためにも、今後ともご協力賜りますことをお願い申し上げます。

2020年10月

集計・制作：立教大学 大学教育開発・支援センター 教学IR部会